

＜平成 28 年度秋季大会ミニシンポジウム＞

ICT の水産業への導入：最前線と今後の課題

日時・場所：平成 28 年 9 月 11 日（日） 13：00－16：40 近畿大学農学部

企画責任者：高木 力（北大院水）・浅海 茂（古野電気）・鳥澤眞介（近大農）・
有路昌彦（近大世界経済研）

- | | | |
|-------------|-------------------------------------|-----------------------------|
| 13:00－13:10 | 開会の挨拶・企画の趣旨説明 | 高木 力（北大院水）
座長：浅海 茂（古野電気） |
| 13:10－13:35 | 1. 漁撈支援システムの開発：旋網漁業への ICT 導入 | 高木 力（北大院水） |
| 13:35－14:00 | 2. 漁業技術への ICT 導入：沿岸漁業を例にして | 鈴木勝也（日東製網） |
| 14:00－14:25 | 3. 養魚管理技術への ICT 導入：養魚モニタリング技術の開発 | 米山和良（鹿大水）・鳥澤眞介（近大農） |
| 14:25－14:35 | 休憩 | 座長：鳥澤眞介（近大農） |
| 14:35－15:00 | 4. 漁業・養殖業への ICT 導入とその活用について | 浅海 茂（古野電気） |
| 15:00－15:25 | 5. 水産加工・製造への ICT 導入：これまでの取り組みと今後の展望 | 村上順一（久慈市漁協）・熊沢泰生（ニチモウ） |
| 15:25－15:50 | 6. 流通・販売への応用 | 有路昌彦（近大世界経済研） |
| 15:50－16:00 | 休憩 | |
| 16:00－16:30 | 総合討論 | 座長：有路昌彦（近大世界経済研） |
| 16:30－16:40 | 閉会の挨拶 | 有路昌彦（近大世界経済研） |

企画の趣旨

ICT（情報通信技術）は既に農業における栽培条件の最適化などに応用されようとしている。水産業では生産現場（水面下）の状態を把握することが困難なため生産者は経験に裏打ちされた技術で補完することにより生産性や品質向上をはかろうとしてきた。水産業への ICT 導入は現場の状態を可視化するほか、生産者の技術ノウハウを効果

的に活用し、高い生産性を実現するための新機軸を打ち出す可能性を秘めている。本ミニシンポジウムでは漁業生産や養殖生産技術での ICT の応用可能性を様々なパイロットケースを例にして紹介するほか、より消費者に近い加工・流通における ICT 活用における今後の展望についても議論する。